

平成23年度実施協働事業 自己評価報告書

事業名：介護予防普及活動（栄養講座、情報提供）

団体名：NPO法人ぽけっとステーション

担当課：長寿あんしん課

（■事業の評価 ★協働の評価）

■①【事業目的】事業目的が果たしているか

事業目的

- ・解決する地域課題の内容

高齢者で食事の欠食・過食・偏食等がみられ、高血圧や糖尿病等の生活習慣病や低栄養等がみられる。

- ・課題解決に対する市民ニーズ（課題として提起する根拠等）

高齢化社会に入り、介護予防が重要視されている。以前、市事業の栄養教室を実施した時、老人会に所属している方より、会で講義してほしいと要望があった。高齢者は情報収集力が乏しい方が多いため、広く介護予防の重要性を伝える必要がある。

自己評価【○】

ヒアリングシート（事業の評価）より、地域で引きこもっている人を呼び出すきっかけになったことや、介護予防に対する意識啓発ができ、事業目的を果たしている。

■②【問題解決の手法（事業の内容）】問題解決の手法は適切であったか

問題解決の手法

- ・問題解決の方策

老人会等の集会日に栄養講座を行う。

自己評価【○】

ヒアリングシートより、こちらから自治会等の人が集まっているところに出向き、多くの参加者が集まった。

■③【事業の実施体制】実施体制は適切であったか

事業の実施体制

- ・管理栄養士4名（うち健康運動指導士2名）

自己評価【○】

包括支援センターと協力しながら事業は適切に実施された。

■④【年間スケジュール】スケジュールは適切であったか

年間スケジュール

4～6月 老人会等への交渉、市事業の情報収集

7～9月 事業内容資料作成

10～12月 事業開始

1～3月 事業評価

自己評価【○】

活動状況報告より、9月から2月の間に講座を実施し、概ねスケジュールどおりであった。

■⑤【事業継続性】次年度以降も実施すべき事業か

自己評価【△】

事業化するにあたり、内容をより精査することが求められる。
いくつかのプログラムを提案し、自治会が選べる仕組み等があるとよい。

★⑥【役割分担】団体と市の役割分担は適切であったか

役割分担

- ・提案団体 食生活を見直すことから、生活の改善につながり、虚弱高齢者の軽減につながる。
- ・市 老人会等への仲介、情報提供

自己評価【○】

事業実施前の事前協議の中で作成した役割分担書（契約書添付）に基づき、実施した。

★⑦【協働の必要性】協働により効果が増したか

協働の必要性

長寿あんしん課、自治会等の協働で横のつながりや情報の共有をもつことができる。

協働による相乗効果

元気な高齢者の増加、要介入者の発見、市事業参加者増加、老人会等参加者増加

自己評価【○】

評価シート（まとめ）より、介護予防・健康増進の普及啓発について、地域における「互助」を担う事業として十分が効果が得られた。

★⑧【協働の成果】団体・市民・市それぞれに成果があったか

団体 栄養改善例の実績増加

行政 要介護・要支援者の減少、虚弱高齢者の減少、地域との連携・把握、介護予防の周知、ひきこもり予防

地域 元気な高齢者の増加、介護予防の周知、地域の活発化

自己評価【○】

ヒアリングシート（協働の成果）より、行政内部への認知度が上がり、くらし安全課を通じて市の防災訓練に協力できることになった。行政の手が届かない分野に対して対応できる内容で、市民サービスの向上につながった。

★⑨【他団体とのネットワーク（協力、共催等）】他の団体の協力や共催は必要なかったか

老人会等の集まりを利用し、介護予防・食生活についての講座を行う調整、場所の提供、広報など

自己評価【○】

ヒアリングシート（広がり）より、実施した以外の自治会からの開催要望や男性参加が多かったことなどから、広がりがみられた。